

事例 3

調べ学習の成果をポスターセッションで発表する

1 育成を目指す言語能力

本単元は、情報社会において氾濫している膨大かつ多様な情報の中から、目的や課題に応じた情報を適切に収集し活用して表現する能力を育成するために計画したものである。「現代文」の学習指導要領の指導事項「オ 目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現すること。」を指導の中心に取り上げ、「設定したテーマに関して情報を収集・活用し、筋道を立てて適切な表現を用いて話している。」という評価規準を中心にして評価する。言語活動例の「エ 自分で設定した課題を探求し、その成果を発表したり報告書などにまとめたりすること。」を参考に、「修学旅行の事前研究の成果をポスターセッションで発表する」という言語活動を通して、冒頭で述べた能力を育成する。学校図書館等を活用して資料を調べて整理し、分析や考察を加えて発表活動を行う。

2 学習活動の概要

(1) 単元名 ポスターセッション

(2) 単元の目標

- ①目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで話そうとする態度を身に付ける。
(関心・意欲・態度)
- ②目的・相手・場面に応じた情報を収集、整理し、適切な表現を用いて話す力を高める。
(話す・聞く能力)
- ③目的・相手・場面に応じた発表を行うための工夫について理解を深める。
(知識・理解)

(3) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
①課題を解決したり考えを深めたりするために、目的や場に応じて、筋道を立てて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしようとしている。	①設定したテーマに関して情報を収集・活用し、筋道を立てて適切な表現を用いて話している。 ②聞くときに、話題、話し手の意図、考えの進め方、強調点などをとらえ、必要なことを聞き取り、話し手に対し、確認したり質問したりしている。	①目的・相手・場面に応じた話し方や言葉遣いを身に付けている。

(4) 指導と評価の計画（6時間）

時間	学習活動	指導上の留意点	単元の評価規準と評価方法
1 2	発表のテーマを設定する (1) 資料1 を読んでポスターセッションの手法を理解する。 (2) 沖縄への修学旅行の事前研究として、グループ（4人×10グループ）ごとに、研究テーマを設定する。	○ポスターセッションは発表者と聞き手との距離が近く、双方向の発表形式であるということを理解させる。 ○聞き手に分かりやすく伝えることが目的であるということを理解させる。	話す・聞く能力① （ワークシート 資料2 への記述の確認）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 研究テーマ 「沖縄の食」（2グループ）、「沖縄の方言」（2グループ）、「沖縄の海」、「沖縄の動植物」、「沖縄の植物」、「沖縄の観光」、「沖縄の戦争と平和」、「キジムナー」 </div>			
3 5	テーマについて調べてポスターを作成し、発表を練り上げる (1) 調査項目についてグループ内で話し合う。 (2) 発表原稿とポスターを作成する。ポスターはA3サイズ用の紙を各グループ4～8枚を使用。 (3) グループ内で役割分担をして発表の練習をする。	○各グループのテーマが重複し過ぎないように調整する。 ○学校図書館やインターネットを活用させる。 ○資料の検索方法を理解させる。 ○疑問点や問題点を話し合わせ、共通理解を図る。 ○見せるポイント、聞かせるポイントを明確にさせる。 ○調べたことを鵜呑みにしないことや、聞き手に分かる言葉で伝えることを意識させる。 ○気付いたことをグループ内でアドバイスさせる。 ○必要であれば手直しをさせる。	話す・聞く能力①、知識・理解① （ワークシート 資料3 などへの記述の確認） 話す・聞く能力② （発表の練習の観察）
6	ポスターセッションを行う (1) 全てのポスターを見て、関心のあるポスターを選ぶ。 (2) 前半と後半に分かれて、発表と聞き手の両方を体験する。 (3) 学習の振り返りをする。	○ポスターを見て、疑問点や詳しく知りたい点などを整理させておく。 ○ワークシートに、実際に発表を聞いた感想などを記入させる。 ○自分の発表について、よかった点や改善点を整理させる。	

※関心・意欲・態度については単元全体を通して評価する。

3 評価の例

情報の収集と活用、分類・取捨選択ができていないか、発表するにあたってどのような工夫をし

ているか、ということを中心に評価した。

生徒の中には、発表に不慣れで、原稿を読み上げるだけというスタイルから脱却できない生徒もいた。しかし、調べたことを基に自分なりの考察を加え、自らの言葉として語る生徒もいた。資料を調べる時間は十分に確保できなかったが、生徒は意欲的に取り組んだ。発表の際も、質問の場面も見られ、単元のねらいを概ね達成することができた。



4 成果と課題

(1) 成果

「話すこと・聞くこと」に指導の重点を置くことで、目的・相手・場面に応じた発表を前提とした調べ学習をさせることができ、単なる調べ学習とは異なる取組ができた。相手に応じて情報の選び方や伝え方が変わることを、生徒に実感させることができた。

また、生徒は発表に際して綿密な準備が必要であることを感じることを学んだようである。調べたりまとめたりする作業を通して、友達同士で学び合う機会も多かった。

発表のスタイルも各グループとも工夫を凝らしていた。本来ポスターは掲示しておくべきものであるが、めくり形式を採用するグループがあるなど、それぞれのグループでアイデアを出し合う場面が見られた。発表の振り返りのための自己評価資料⁴から、よりよい発表のための方策を、互いの発表から学んでいる様子が見て取れた。

(2) 課題

ポスターセッションは、話し手、聞き手が対話する中でテーマについて考察を深め合うものである。しかしながら、ただ話を聞くだけで質問の出ない生徒もいた。聞き手としての質問のポイントを指導しておくことが、より活発な意見交換を導く手だてとなるために、その点が不十分であったことは反省すべき点であった。

また、予想される質問を発表者に予め考えさせたが、十分に想定できる生徒はいなかった。それらについては、自分の発表を第三者の視点で捉えさせるようなポイントをワークシートなどに示して、発表前に考えさせる指導が必要であった。

第6時の発表では、前半と後半の組に分けて発表と聞き手の両方を体験させるようにしたが、生徒は、自分たちと同じ組の班の発表を聞くことができなかった点を課題として指摘した。それだけこの学習を通して「関心・意欲・態度」が形成された証拠でもあり、その点ではこの指導の成果とも言えるのだが、今後は、限られた時間を有効に使う、聞くことに充てる時間を生み出す工夫をしたい。

今後も、「話すこと・聞くこと」の言語活動を「読むこと」や「書くこと」の指導と関連付けて、普段の学習活動の中で積極的に取り入れられるような工夫を心がけたい。

参考URL

- 三省堂「ことばと学びの宇宙」

<http://tb.sanseido-publ.co.jp/kokugo/kokugo/j-kokugo/material/t-material.html>

ポスターセッションをしよう

Q ポスターセッションとは？

A ポスターセッションとは、発表の内容を書いたポスターを壁またはホワイトボードなどに貼って、発表者の前に聞き手が立つ度に、聞き手と会話しながら行う発表形式のことです。ポスターは、発表内容に合わせて、例えば模造紙大の1枚の紙、あるいはA4判の紙を10枚から20枚使って作ります。発表内容は、文字だけでなく、絵や図表やグラフなどを交じえて、分かりやすくまとめます。

ここでは、それぞれのグループが発表内容について理解を深め合うことを目的として、調べたことをA3判の用紙4枚から8枚のポスターにまとめ、それをもとに説明したり質問に答えたりして、互いに交流する活動を行います。

ポスターセッションの流れ

①調べる内容を決め、グループを作る。

- 1) 興味や関心があることをもとに、調べたいテーマ・内容を決める。
- 2) テーマが似ている友達とグループを作る。

②調べて、発表する内容を決める。

- 1) テーマに沿った資料を探し、集める。
- 2) 調べた内容をグループの友達同士で紹介し合う。
- 3) どのようなことを中心に発表するかを話し合っで決める。

③ポスターを制作し、発表の準備をする。

- 1) 図・表・グラフを作成する。
説明の資料として効果的な図表を考え、工夫する。
- 2) 内容にふさわしいキャッチコピーを作る。
短く、印象的な言葉を工夫して作る。
- 3) キャッチコピー・見出し・図表・文章・資料の出典などを、どのようにポスターに配置するか考える。
- 4) 発表メモを作る。
項目や順番などを記した簡単なメモを作る。
- 5) 聞き手の質問を想定して、答えを用意しておく。
ポスターを補足する資料を用意しておく。
- 6) 役割分担を決める。
全員が発表するように分担する。

④ポスターセッションをする。

- 1) クラスを二つに分け、前半に発表するグループと、後半に発表するグループを決める。
- 2) 前半の発表：ポスターを貼って発表する。後半の発表グループは聞く側になる。
後半の発表：ポスターを貼って発表する。前半の発表グループは聞く側になる。
- 3) 多くの人が聞く機会を増やすために、発表は1グループが2回ずつ行うこととする。

⑤ポスターセッションを振り返る。

- 1) 発表内容について、初めて知ったこと、興味深かったこと、参考になったことなどを話し合う。
- 2) 発表の仕方、聞き方、質問の仕方などについて振り返り、気付いたことをまとめる。

テーマ 沖縄

年 組 番 氏名 _____

グループのメンバー () () ()

1 沖縄の何について知りたいか、できるだけ例を挙げてみよう。

- ・
- ・
- ・
- ・

グループのテーマ 『

』

2 調べること・話し合ったことなどをメモしておこう。

ポスターセッションの言葉を考えよう

年 組 番 氏名 _____

効果的な説明にするために、発表の順番や説明の言葉を工夫しよう。

テーマ 『沖縄の戦争と平和』

キーワード 『17才の悲劇～嵐の中と生きた少女たち～』 (生徒の発表原稿の例)

1	ひめゆり学徒隊とは 沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒・教師で構成された部隊のこと。
2	名前の由来 沖縄師範学校女子部の広報誌『白百合』と沖縄県立第一高等女学校の広報誌『乙姫』を併せて『ひめゆり』という名称になった。実在する花ではない。
3	任務 看護といっても名ばかりで、切断した手足を壕の外へ運んだり、ウジ虫を処理したりした。また、患者の食事や排泄の介助の他に、水くみや食事の運搬などで壕の外に出るという、危険と隣り合わせの任務が多かった。
4	平和とは何か 約60年前、私たちと同じ年代の女学生が、人間の行動とは思えないような活動を強制されていた。私たちができることはいったい何なのか。自分たちの問題として考えていかなければならない。

ポスターセッションをやってみよう

資料 4

年 組 番 氏名

発表するときのポイント	聞くときのポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の反応を確かめながら話す。 ・言葉遣いに気を付ける。 ・声の大きさ、話すスピードに気を付ける。 ・資料を活用する。 <p>*自分の発表の観点を説明してから、詳しい内容に移りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ話し手を見る。 ・相槌をうつ。 ・質問や感想を言う。

発表を振り返ってみよう 4：よくできた 3：だいたいできた 2：あまりできなかった 1：できなかった

自己評価 発表

声の大きさ・速さ (聞き手にとって適切であったか)	4	3	2	1
言葉遣い (丁寧な言葉遣いができたか)	4	3	2	1
内容 (聞き手に理解してもらえたか)	4	3	2	1
総合評価	4	3	2	1
自分の発表のよかった点と改善点 (記入例)				
<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を見ないで話していた。 ・会話するように話していた。 ・ポスターを有効に活用しながら発表していた。 ・語りかける口調や、疑問の投げかけ。 ・質問を受けて、内容を再度考えることができた。 ・いろいろと考えさせられた。考え方が人によって違うことに改めて気付かされた。 				

自己評価 聞き手

発表について興味関心をもって聞くことができたか	4	3	2	1
発表について質問や感想が述べられたか	4	3	2	1
総合評価	4	3	2	1
聞き手としてよかった点と改善点 (記入例)				
<ul style="list-style-type: none"> ・間の取り方。 ・もう少し手順良く話が進むとよかった。 				

ポスターの作品例